

ひょっこりほん！

今年はしっかりと雨が降る梅雨でしたが、雨の日は図書館も大にぎわいです。暑い日が徐々に増えてくると思いますが、夏休みに涼しい市立図書館も利用しましょう。



令和8年7月10日
国府津中学校図書館
比企しずか



夏休み特別企画



7月6日(月)から、ひとり4冊まで本を借りられます。返却は9月1日(火)～9月4日(金)にお願いします。



小田原東口図書館にてPOP 展示中

今回、市立図書館の学校連携担当者様ご協力のもと、6月27日～7月31日まで東口図書館にて図書委員作成のおすすめ本ポップを展示していただけることになりました。夏休みに小田原駅へ行くことがあれば、ぜひ立ち寄ってみてくださいね。

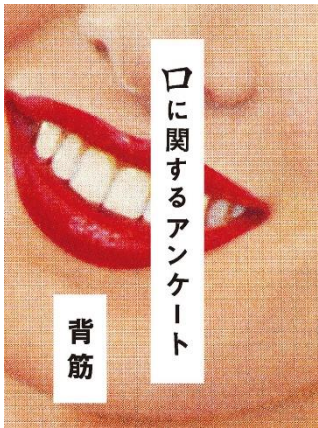


変な絵 (雨穴 著) 流浪の月 (凧良ゆう 著) ウソナンデス (今泉忠明 著) 君が落とした青空 (櫻いいよ 著)
 阪急電車 (有川浩 著) あと少し、もう少し (瀬尾まいこ 著) 薬屋のひとりごと (日向夏 著)
 夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く (汐見夏衛 著) ほどなく、お別れです (長月天音 著)
 ハリー・ポッターと炎のゴブレット (J・K・ローリング 著) へんしんマラソン (あきやまただし 著)
 陽気なギャングが地球を回す (伊坂幸太郎 著) 宇宙への秘密の鍵 (ルーシー&スティーヴンホーキング著)

勝手にアカデミー賞

夏になると小説も映画も怖いものが人気ですね。でもせっかくの長い休み、いろいろなジャンルの本に手を出してみるのもおすすめです。

「口に関するアンケート」(背筋 著・ポプラ社)



ある録音データに、大学生5人の呪われた木にまつわるエピソードが録音されていた。それぞれが順番に肝試しで体験したことを語っているのだが…。全63ページ、手のひらサイズの超ミニ本です。

途中までは??誰が何をしてどうなっているの??と疑問のまま大学生たちの独白が進んでいきますが、最後の「アンケート」でそうなのか!とスッキリすると思います。映画もあり、そこでは90分という時間でこの短編小説がどう展開されていくのかも気になります。背筋氏の新刊、次は目がテーマですが、数年後には体のパーツほぼ全て制覇しているかも知れませんね。

「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」

(汐見夏衛 著・スターツ出版)



中学2年の涼は転校した学校で、大人しくて無口な百合と出会う。初めて会うはずなのになぜか懐かしく思える百合に、涼はどんどん惹かれていく。想いを伝えようとする涼に、百合は75年前の戦争にまつわる驚くべき不思議なことを話し始める。

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」の続編。この1作目がバッドエンドだっただけに、主人公が救われる展開になる今回の続編は救われるものがあります。好きな人、好きなものを大切にしながら生きていかれる今の時代は、幸せですね。「あの花」はさらに続編も出ています。気になったら3冊まとめてどうぞ。

こちらは7月の新着本。夏休み前にほかにも数冊入る予定です。

「ファイア・ドーム」(辻村深月 著 小学館)

「祝山」(加門七海 著 光文社)

「さばの缶づめ、宇宙へいく」(小坂康之ほか 著 イーストプレス)

「コズミック・ガール」(伊予原新 著 文藝春秋) ←「宙わたる教室」続編

「名探偵のままでいて」(小西マサテル 著 宝島社)

「あの夏のキミを探して」(汐見夏衛 著 スターツ出版)

「一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない」(冬野夜空 著 スターツ出版)

「大人は泣かないと思ってた」(寺地はるな 著 集英社)

「月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった」(川井紗生 著 サンマーク出版)

「ハンドレッドノート 名探偵 司波仁の事件簿」(岡崎隼人 著 講談社)

「薬屋のひとりごと 猫猫の調合書」(日向夏 著 真楠ヨウ 料理 イマジカインフォス)

